

事業番号	09 04 17	事業改善シート（27年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特用作物産地づくり推進事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H22 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	国内産需要が高まっている薬草を新たな品目として導入を推進し、契約栽培により安定した収入確保を進めるとともに、遊休農地等農地の有効活用を図る。そのために、薬草種苗の生産組織の育成・確保による薬草種苗の安定供給体制の構築や栽培技術の向上のため、薬草栽培リーダーの育成、また、法人や組織的な取り組みの支援による薬草の産地化を推進する。また、実需者とのマッチングルートの整備等を行い、契約栽培の特徴を活かし中山間農業の活性化を図る。		
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内生薬原料の80%以上は中国からの輸入に依存しているものの、中国からの輸入環境が厳しくなっており、国内生薬メーカー等は国内における安定的な原料確保を強く望んでいる。また、実需者からは、長野県は気象条件が薬草栽培に適していることから、生産量拡大の要望されている。</li> <li>県では、平成20年から実需者と連携した生産体制を整備し導入を進めているが、個人での取り組みが主体であることや、種苗が市販されていないため、自家採取や山採により確保されている状況であり、生産拡大が思うように進んでいない。</li> <li>薬草は、山採により確保されていた作物であるため、栽培技術が未確立であり、また、除草剤など登録農薬が少ないこと、機械化による省力化技術が未確立であるため、想像以上に労働力を要することから収益性が低く、不安定である。</li> <li>一般農産物と異なり、流通と需要は限定的なことから、引き続き県による生産体制整備が必要である。</li> </ul>		

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施： 実施中	<b>【左記の説明、根拠法令等】</b> 国段階（農水省、厚労省）でも生薬の国内生産拡大を検討し始めており、また県内の市町村段階でも中山間地の活性化を目的とし栽培に関心が高いことから関与が必要。
----------	-------------------------------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標（H27）			
	<input type="checkbox"/> 薬草生産技術等研修会の開催による薬草栽培技術の向上 研修会開催回数:3回（延べ150人） <input type="checkbox"/> 薬草種苗や薬草生産組織の育成による産地づくりの推進 薬草種苗もしくは薬草生産に取り組む組織の育成:1組織			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初) (決算) H28 (当初)
薬草種苗供給体制の整備	直接	・薬草の種苗供給 ・薬草種苗の安定生産供給体制の構築の検討と薬草種苗生産に意欲ある生産組織育成のための研修会開催	547 451 554	
薬草生産技術の確立及び向上	直接	・薬草生産技術研修会の開催や実証ほ設置による栽培技術の普及、向上及び機械化等省力化技術のモデル産地の育成による機械化等推進	170 114 163	
生産体制の整備	直接	・本県における薬草生産体制の整備や法人等による組織的な取り組みに対する支援等の検討	204 200 196	
合計			921 765 913	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	2,519	951	921	913
	補正予算				
	合計(A)	2,519	951	921	913
	一般財源	204	204	204	196
	県債				
	国庫支出金				
	その他	2,315	747	717	717
	決算額(B)	583	708	765	
概算職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
概算人件費	826	826	828	828	
概算事業費(B(A)+C)	1,409	1,777	1,593	1,741	

項目	成果目標の達成状況				
	H26末(実績)	目標	成果	達成状況	H28目標
研修会の開催	3回(延120人)	3回(延150人)	3回(延172人)	達成	3回(延160人)
薬草生産等組織の育成	-	1組織	1組織	達成	1組織

目標に対する成果の状況	・3回の研修会や実証ほ等の設置等により、農業者の生産安定や薬草種苗の生産組織を1組織育成することができた。 ※H26年度特用作物振興事業から移行
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 薬草栽培の定着や拡大のためには、収益性の向上や栽培技術の確立、種苗の安定供給体制及び生産体制の整備・確立が課題であることから、課題解決に向けた検討や研修会を開催するなど引き続き事業を実施する。
--------------------	---